

鶴見区音楽研究部世話人校長

小黒 裕子

鶴見区音楽研究部世話人校長

佐藤 朗子

鶴見区音楽研究部長

木場 美輪

1. 研究主題

「音楽の楽しさを味わいながら、豊かな音楽性を培う指導の在り方」
～児童が音楽の楽しさ・美しさを感じ取り、友達と学び合う中で自分の考えを深め、
生き生きと自己表現する喜びを味わえる学習をめざして～

2. 研究主題設定の理由

音楽科において、子ども達が音や音楽を通じて、人とのつながりや、音楽を表現したり聴いたりする喜びを感じることで、豊かな人間関係を築いたり、ともに音楽を楽しんだりする姿を目指している。そうすることで、生活や社会の中の音楽や人と豊かに関わり、心豊かな生活を営むことができると考える。小学校における音楽科では、表現および鑑賞の様々な活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、そこから思いや意図をもち、表したい音を表現する技能を身に付けることや、音を介しながら互いに考えを共有することを通して、一人ひとりの学びを広げたり深めたりしていくことが大切である。また、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽に親しみ、子どもたちがより豊かに生きようとする姿を支援していく。

音楽科の学習の中で、子どもは様々な音楽との出会いを通して、自分の思いや願いをもち、それを表現しようと、創造性や自分らしさを発揮しながら、豊かに活動していく。その活動一つひとつを大切に、温かく受け止めて、適切に支援していくために、指導法や手立てを工夫することが大切である。さらに、協働的な学習の機会をもつことで、友達と関わり、学び合いながら自分の考えを広げたり、深めたりする姿勢を育てていく。

児童一人ひとりが、思いや意図をもって生き生きと豊かに表現する喜びを味わえるように、学び合いや、思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素の理解、表現の工夫をお互いに認め合う学習活動を通して、音楽性の基礎・基本を培い、音楽的な感受を伸ばし高めていくことが必要であると考え、主題を設定した。

3. 活動内容

研究研修部	○研究主題の具現化のための授業の推進・運営・記録 (区の授業研究会) ○実技的な研修会の企画と運営
行事部	○区児童音楽会の計画と運営

4. 年間活動計画

月	日	曜日	種別	活 動 内 容	会場	講師	担当
4	12	水	総会	新研究会員紹介 役員紹介 年間活動計画提案	豊岡小	—	役員
5	17	水	研究	実技研修①ICT	豊岡小	アイティク リップス	研究研修
6	14	水	行事	区ブロック音楽交流会 実施案検討 教科書展示・閲覧	豊岡小	—	行事
7	12	水	研究	実践提案①②	豊岡小	—	研究研修
8	17	木	研究	実技研修② 歌唱法・合唱指導法	豊岡小	並木第一小 松崎校長先生	研究研修
9	13	水	研究	実技研修③ 情報交換	豊岡小		研究研修
10	11	水	行事 研究	区ブロック音楽交流会最終確認 実技研修④	豊岡小		行事 研究研修
11	8	水	行事	区一斉研指導案検討①	駒岡小		研究研修
12	13	水	研究	区一斉研指導案検討②	駒岡小		研究研修
1	17	水	研究	区一斉研	駒岡小		研究研修
2	21	水	総会	一斉研の振り返り ブロック音楽会の振り返り 年度のまとめ		—	役員

研究を深めるために、令和元年度末に決まったこと

1 年間の研究の軸を決める。(一斉研はしばらくしない)

→実践提案、研修を同じ領域にして、年間を通して研究を深めたい

R2年度 鑑賞 → R3年度 音楽づくり → R4年度 器楽 → R5年度 歌唱 →
R6年度 鑑賞 …

2 実践提案を入れる。(研究副主任が行う)

★実技研修について

昨年度の反省から、ICT研修や指揮法は入れる。

他に、リコーダー研修、歌唱法、鑑賞などの声が多く上がったので、検討する。

令和5年度 神奈川区音楽教育研究会 活動計画

1 研究主題

音楽の楽しさ、美しさを感じ取り、一人ひとりが生き生きと表現しようとする学習のあり方
～子どもの主体的な学習活動を支えるための 教師の支援のあり方を探る～

2 主題設定の理由

音楽学習において、最も基本的で大切なことは、子ども一人ひとりが、自ら音楽に興味・関心を示し、学習しようとする意欲をもつことである。音楽における興味・関心・意欲は、表現や鑑賞の活動を通して、音楽の楽しさ、美しさを感じる中で育つものである。従って、このような心情に基づく学習は、子ども自身が音楽そのものについて自ら働きかけ、自ら学び取ろうとする主体的学習活動が展開されていくとき、初めて生き生きとした楽しい音楽学習が実現し、音楽活動をさらに積極的に進めようとする意欲や態度を喚起するものである。

このような音楽科学習を展開するために、子ども一人ひとりが音楽の楽しさ、美しさを感じ取り、心の中に芽生えた感動を生き生きと表現できるための音楽科学習がどうあるべきかを探り、研究していくために本主題を設定した。

3 研究方法

- ① 実践をもとにした研究
- ② 授業研究（一斉授業研）
- ③ 指導技術向上を図る実技研修（評価・指揮法など）
- ④ 児童の活動を通じた研究（区音楽会 等）

4 研究組織と各部の内容

組織		氏名	学校		組織	氏名	学校
区教育研究会会長		田名部 和美	神奈川小		部長	渡邊 映梨佳	神橋小
世話人	校長	宮崎 里子	西寺尾第二小		副部長	南部 麻美	大口台小
	校長	判治 珠美	神橋小		副部長	今井 たか子	白幡小
	副校長	永野 理英子	羽沢小				
	副校長	小野 雅美	白幡小				

- 部長 : 市・区の事務連絡、調整、講師の依頼、礼状作成、支部長会、教育研究会に関わる書類の作成。
区教育研究会に関わる書類の作成
- 副部長 : 部長の補佐、出張や任務を行えない時の代行、歓送迎会の準備、区音楽会の計画立案、会計。
- 広報部 : 研修会の記録をまとめて、A研で配付する。
- 研修部 : 研修会の内容決定、計画、運営、講師との連絡。
- 実践提案部 : 区音楽研のテーマに沿った授業実践の提案。
- 事業部 : 区児童音楽会の計画と運営を行う。
- 研究部 : 区一斉研の司会や記録を行う。指導案検討の司会と記録。

令和5年度 神奈川区音楽研究会 年間活動計画

月	日	曜	歌担当	中心部会	内 容	会 場	提 案	司 会	記 録
4	17	水		部長	部員自己紹介・役員選出 年間活動計画検討 組織作り・係分担	西寺尾	部長	部長	副部長
5	17	水		部長	年間活動計画確認 歌紹介について 授業についての情報交換	神奈川	部長	部長	副部長
6	14	水		研修	評価について 研修 区音楽会 希望調査	二谷	研修	二谷	西寺尾
7	12	水	○	実践提案	実践提案 区音楽会素案 教科書展示	三ツ沢	実践提案	神奈川	神奈川
8	17	木		研修	器楽研修 港南台第三小 湊田美穂先生	子安	研修	西寺尾 第二	神大寺
9	14	水	○	事業	区児童音楽会実施計画確認 係打ち合わせ	子安	事業	本部	
10	11	水		研修	指揮法 研修	幸ヶ谷	研修	幸ヶ谷	羽沢
11	8	水	○	研究 事業	一斉授業研指導案検討① 区児童音楽会最終打ち合わせ	菅田の丘	研究	南神大寺	青木
11	20 21 22	月 火 水		事業	区児童音楽会1日目 // 2日目 // 3日目	※3日間、係分担にしたがい、ご協力をよろしく お願いします。全部員が係を担当します。 (会場：神奈川公会堂)			
12	13	水	○	研究	一斉授業研指導案検討②	菅田の丘	研究	南神大寺	青木
1	17	水		研究	区一斉授業研究会 菅田の丘小	菅田の丘	研究	南神大寺	青木
2	21	水	○	部長	研究のまとめ 区児童音楽会反省 年間活動反省	神橋	部長	部長	副部長

○ 4月の会場は昨年度の部長校、2月の会場は今年度の部長校

○ 研修の際に、広報部が「シンフォニー」(研修の記録)を作成する

令和5年 西区音楽研究会 活動計画

1. 研究主題

児童の表現を豊かにするための音楽活動のありかたについて

～一人ひとりが生き生きと楽しんで表現できる音楽活動をめざして

2. 主題設定の理由

児童の表現を豊かにするためには、様々な音楽活動を通して、一人ひとりの子どもが音楽の基礎・基本を確実に身に付けていくことができるよう、授業のねらいや流れ、手立てについて探っていくことが大切であると考えます。

そのためには、児童の個性を生かした創造的で主体的な学習活動を展開し、児童一人ひとりが音楽の楽しさや美しさを感じ取り、心の中で芽生えた感動を生き生きと表現できるための場の設定や効果的な教師の支援が必要になってくると思われる。「自ら生き生きと表現する児童」の育成をめざして、多方面にわたる研修や研究を深め、指導法を探っていきたいと考え、この主題を設定した。

3. 研究方法

◎研究会を下記の三領域に分けて、研究主題に迫るようにする。

○研究部

- ・指導法の研究を主とし、各自が実践した内容を持ち寄ることにより、互いの指導法の技術を高めるようにする。

○研修部

- ・主に実技研修を通して、研修を行うようにする。
- ・歌唱については、指揮法及び合唱指導法について実技研修を図るようにする。
- ・器楽については、合唱及びアンサンブル学習の基礎・基本について実技研修を図るようにする。
- ・表現については、歌唱、器楽、つくって表現する活動等、幅広く研修するようにする。
- ・鑑賞については、音楽の楽しさを感じ取る鑑賞指導の在り方などを研修するようにする。

○行事部

- ・区児童音楽会の企画・運営にあたる。

4. 研究組織

区教育研究会会長

宮谷小校長 鳥山 真 先生

世話人副校長

東小副校長 池田 尚子先生

役割	学校	主任	内 容
部長	西前	金崎 直子	各種連絡調整 会計・記録
副部長	宮谷	岡田 真由子	招請状発送
行事	稲荷台	黒澤 虹歩	西区児童音楽会 計画・立案・運営・会場確認・プログラム編成・反省・ まとめ・次年度会場予約
一斉研	中区	中区	研究の立案と運営・実践提案
研究	平沼	菅野 奈生	
	浅間台	脇野 航平	
研修	戸部	関口 詩織	研修の立案と運営 司会・記録

5. 活動計画

月	日	会場	領域	内容	提案	司会	記録
4	1 2	西前		組織作り・年間計画	西前	西前	西前
5	1 7	Meet	情報交換	話題にしたいテーマを出し合う	西前	西前	西前
6	1 4	Meet	情報交換	評価について（器楽指導） 音楽会の開催について	—	浅間台	浅間台
7	1 2	Meet	情報交換	評価について（歌唱指導）	—	東	宮谷
8	1 7	戸部	研修 行事	指揮法 ※音楽会について （今年度・次年度も）	戸部 稲荷台	戸部	戸部
9	1 3	稲荷台	行事	音楽会の開催について	稲荷台	稲荷台	稲荷台
1 0	1 1	中区	研 究	中・西区合同一斉研指導案検討 （検討②）	中区	中区	中区
1 1	8	中区	研 究	一斉授業研（西・中合同）	中区	中区	中区
1 1		西公会堂	行 事	西区音楽会（西公会堂）	稲荷台		
1 2	1 3	Meet	実践提案		平沼	平沼	一本松
1	1 7	Meet	実践提案		浅間台	富士見台	一本松
2	2 1	西前	研 修	一年間の反省・次年度に向けて	西前	西前	西前

令和5年度 中区音楽研究会 活動計画

1. 研究テーマ

**音楽のよさや美しさを感じ取り、
音楽的な見方・考え方を働かせて表現したり、聴いたりする子どもの育成
～音楽と豊かにかかわる資質・能力を育成する支援の在り方～**

○研究テーマ設定の理由

学習指導要領では、小学校音楽科の教科の目標として、「表現及び鑑賞の活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。」と示されており、その育成にあたっては、「曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。」「音楽表現を工夫することや、音楽を味わって聴くことができるようにする。」ということとともに、「音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う。」こととされている。それらの内容を踏まえ、本研究会では昨年度に続き、音楽のよさや美しさを感じ取り、音楽的な見方・考え方を働かせて音楽活動に取り組む子の育成を研究テーマとして定め、指導法や授業づくりについて検証していきたいと考えた。

○研究テーマのとらえ

歌唱や器楽、鑑賞の活動において、取り扱う楽曲の曲想を子どもたちが聴き取ったり感じ取ったりできるようにしていきたい。そのためには、「音楽を特徴付けている要素」や「音楽の仕組み」などといった、「音楽を形づくっている要素」の働きが生み出す楽曲そのもののよさや美しさに気付けるような授業を展開していきたい。また、歌唱や器楽、音楽づくりの活動においても、素材の面白さや、音階独特の特徴を生かして表現したり、教材そのもののよさを感じ取ったりし、「こんな風に演奏したい。」「こんな音楽をつくりたい。」という、表現に対する自分の明確な考えや願い、意図を持って活動できるようにしていきたい。

○サブテーマ「音楽と豊かにかかわる資質・能力を育成する支援の在り方」について

「音楽と豊かにかかわる」とは、自ら音楽に関わり、音楽の授業で得た音楽経験を活かして、生活を明るく潤いのあるものにしていくことと捉えている。そのためには、音楽活動の楽しさを体験しながら、楽曲の魅力に触れ、音楽の素晴らしさを実感できる授業実践をしていきたいと考える。そこで、「音楽と豊かに関わる資質・能力を育成する支援」として、次の点について工夫して取り組んでいく。

- ① 楽曲の魅力を感じるための出会いの工夫
- ② 音楽表現を工夫したり、聴いた音楽を自分たちの言葉やその他の方法で表したりして、音楽に主体的に関わるための手立て（友だちとの関わり合いも含むなど）
- ③ 音楽表現の高まりや、より深く鑑賞できたことを実感し、より豊かな生活につなげていく態度を育てる。

これらの視点をもった学習活動を意図的に設定することで、テーマにあるような子どもの姿につながっていくと考える。教材をよく吟味し、効果的な手だてを講じることを大切にしながら研究を進めていく。

2. 研究組織

研究会会長	前島 潤 先生 (山元小学校)
世話人校長	中尾 和世 先生 (間門小学校)
部長 (1人)	栗原 希久子 (山元小学校)
副部長 (2人)	飯島 明希 (北方小学校) 中井 千尋 (本牧小学校)
研究部	立野小学校 元街小学校 本牧南小学校
研修部	本町小学校 みなとみらい本町小学校 大鳥小学校 間門小学校
行事部	横浜国大附属小学校

3. 中区音楽研究会 年間予定 (5/17 現在)

月日	会場	活動内容	提案	司会	記録	今月の歌
4月12日(水)	北方小	・研究テーマ、年間計画確認 組織作り	部長 副部長	部長 副部長	部長 副部長	
5月17日(水)	立野小	・授業研の内容について ・情報共有「音楽朝会について」	部長 副部長	北方小	本牧小	山元小
6月14日(水)	MM本町小	・研修①「音楽評価について」 (主体的に取り組む態度を中心に) 講師：北部学校教育事務所 橋本 ゆい子先生	研修部	MM本町	大鳥小	北方小
7月12日(水)	本町小	・児童音楽会打合せ①	行事部	附属小	立野小	附属小
8月17日(木)	本町小	・研修② 「指揮法」	研修部	間門小	本町小	本町
9月13日(水)	本牧南小	・実践提案①「1年鑑賞」	本牧南小 行事部	大鳥小	元街小	大鳥小
10月11日(水)	元街小	・実践提案②「5年鑑賞」 ・児童音楽会打ち合わせ②	元街小	本牧小	本牧南小	間門小
11月8日(水)	立野小	・授業研究会指導案検討①	立野小	本町小	間門小	MM本町
11月21日(火)	県立音楽堂	中区児童音楽会				
12月13日(水)	立野小	・授業研究会指導案検討② (西・中区合同) ・音楽会反省	立野小	山元小	北方小	
1月17日(水)	立野小	・中西合同一斉授業研究会	立野小	部長 副部長	副部長	
2月21日(水)	山元小	・今年度の振り返り ・来年度に向けて	部長 行事部	部長 副部長	副部長	本牧小

令和5年度 南区音楽研究会活動計画

1 研究テーマ

「音楽の楽しさ・美しさを感じ取り、豊かに表現できる子を育てる指導のあり方」
～ 一人一人の児童が生き生きと取り組む創造的な音楽学習を目指して ～

これからの音楽教育では、子どもたちが音楽を聴いたり、演奏したりして、様々な音楽に積極的に働きかけ、その音楽のよさや美しさを感じ取り、よりよい表現に向けて、思いや意図を持って自ら創り上げていくような活動を充実させていくことが大切であると考えます。そこで一人ひとりの児童がもっている音楽性が生き生きと発揮するとともに、友だちの音をよく聴き合い、表現の工夫をしながら共に学ぶことができるよう、【共通事項】との関連を意識しながら、創造的な音楽学習活動の展開を目指して、今年度もその指導法について研究を進めることにした。

2 研究内容と方法

(1) 内容

- ア 今年度は、「器楽」をテーマとした情報交換や、実践提案をもとに、一人一人の児童が生き生きと取り組む音楽学習を目指した指導法の研究を行う。
- イ 歌唱、指揮法、器楽などの実技研修をすることにより、指導技術の向上を図る。
- ウ 児童の表現活動を通して、よりよい音楽活動のあり方を研究する。

(2) 方法

- 研究研修部、行事部、広報部の3つ主任、副主任を中心に計画・立案をすすめる。
- ・従来の「音研だより」の執筆（記録）は今年度輪番ではない学校で分担する。
- ・児童音楽会の係については、各校で人数を定め、運営していく。

3 研究会活動計画

(※実践提案校…中村小・日枝小)

月	日	会場校	内 容	司会	記録 (輪番担当で ない学校) 役員
4	12	井土ヶ谷小	自己紹介、研究テーマ、研究内容、方法、組織、年間計画作成	前部長	
5	17	大岡小	☆拡大みな音情報交換会	研究研修部 副主任 (六つ川西小)	太田小
6	14	日枝小	実践提案①(日枝小)	研究研修部 副主任 (六つ川西小)	南吉田小
7	12	南小	器楽研修 講師：都田小学校長 今村 行道先生 南区児童音楽会提案	研究研修部 副主任 (六つ川台小)	六つ川小
8	17	南太田小	第1部：14時～南区児童音楽会打ち合わせ 第2部：15時15分～ 指揮法研修 講師：上飯田小学校長 村上 雅基先生	研究研修部 副主任 (六つ川台小)	南太田小
9	13	中村小	実践提案②(中村小)	研究研修部 副主任 (六つ川西小)	蔭田小
10	11	南吉田小	指導案検討① 南区児童音楽会打ち合わせ(係打合せ・最終確認)	研究研修部 主任 (南小)	永田小
11	6	南公会堂	南区児童音楽会 第1日目 第1日目 講師：上飯田小学校長 村上 雅基先生		
	7	南公会堂	南区児童音楽会 第2日目 講師：新鶴見小学校長 佐藤 朗子先生 港南台第三小学校副校長 澁田 美穂先生		
	8	別所小	指導案検討②	研究研修部 主任 (南小)	南太田小
12	13	別所小	指導案検討③ 南区児童音楽会反省	研究研修部 主任 (南小)	六つ川小
1	17	別所小	南区一斉授業研究会	研究研修部 主任 (南小)	研究研修部
2	21	南吉田小	区音楽会研究会反省	部長 (藤の木小)	太田小

4 研究組織

研 究 会 長		足立 渉 校長（永田小）
音 楽 世話人	校 長	◎山田 尋通 校長（南太田小） ○馬渡 照代 校長（大岡小）
	副 校 長	新谷 亜希子 副校長（南小） 山中 智恵 副校長（別所小）
教 科 代 表 (音楽部 部長)		杉山 隆子 （藤の木小）
教 科 副 代 表 (音楽部 副部長) ◆副代表は輪番		芳賀 佳奈子（井土ヶ谷小） 橘田 弘美（大岡小）
研修・研究部 主 任		加藤 瑠美子（南小）
行 事 部 主 任		杉中 咲智 （永田台小）
広 報 部 主 任 ◆広報部主任は輪番		黒川 素子（永田小）
研修・研究 部 ◎ 主任 ○ 副主任 ◆副主任は輪番		<研修・研究部> ◎ 加藤 瑠美子（南小）…主に南区一斉研究会に向けての企画・運営等 <研修部>…主に研修（実技研修、指揮法研修など）に関する企画・運営等 ○ 松本 幸子（六つ川台小） <研究部>…主に研究（実践提案、指導案検討、みな音情報交換会）に関する 企画・運営等 ○ 乾 祐香（六つ川西小）
行 事 部 ◎ 主任 ○ 副主任 ◆副主任は輪番		<行事部>…南区児童音楽会の企画・運営等 ◎ 杉中 咲智 （永田台小） ○ 上田 優香 （石川小）
広 報 部 ◎ 主任 ○ 副主任 ◆主任、副主任ともに輪番		<広報部>…A研の記録をもとに、「音楽だより」の作成、配布 ◎ 黒川 素子（永田小） ○ 大浪 智紗（太田小） ※学校ごとに輪番で記録する。

令和5年度 港南区小学校音楽科教育研究部年間活動計画

【研究主題】

音楽の美しさや楽しさを感じ取り、一人ひとりが生き生きと表現できるようにする音楽科指導

1. 研究主題について

子どもたちが音楽の楽しさや美しさを感じ取り、一人ひとりが生き生きと表現できるようにするためには、教師が指導内容や指導方法について研究を深め、子どもたちの学ぶ意欲や能力を引き出せるような魅力的な授業を展開することが必要である。

また、豊かに表現するためには子どもたちに基礎・基本をしっかりと定着させることも不可欠である。教師としての資質を高め、様々な指導の引き出しを用意することで、個に応じた指導ができると考える。そこで、常にこれらの点に立ち返り、よりよい音楽科指導を研究していきたいと考え、この主題を設定した。

2. 研究方法

○教育課程の編成、新教材の楽曲分析や指導法の提案

○効果的な指導・支援の在り方についての研究、授業研究会を通しての検証

○実践提案による研究、指揮法・合唱指導法などの実技研修

3. 研究組織

(1) 研究会長	港南台第三小学校	岡部 一郎 校長先生
(2) 世話人校長	桜岡小学校	後藤 俊哉 校長先生
(3) 部員数	学校数 21校	部員数 60名

係 名	学 校 名	氏 名
部 長	芹が谷南	山田 瑞希
副 部 長	芹が谷	新井 陽子
研 究 1名+昨年度1名	下野庭 (昨年度：港南台第一)	糟谷 麻衣子 (昨年度：水野 薫)
研 修 2名	野庭すずかけ 永野	宮崎 華緒里 内山 美紀
音楽会実行委員長 副委員長 昨年度1名	相武山 永谷 (昨年度：港南台第三)	田中 彩 永島 伊都子 (昨年度：新井 絵里子)

令和5年度 年間研究計画

2023/5/30

月	日	曜日	区分	研究内容	研究会場	講師	担当・提案	司・会	記録	楽曲紹介	情報交換(案)
4	12	水	運営	年間研究計画概要と組織	桜岡		前部長	前部長	前副部長		卒業式の歌
5	17	水	運営	合唱指導法研修、共通教材について	下永谷	下永谷小学校 神山 恭先生	研修部	小坪	永谷		
			研修	年間研究計画決定			部長				
6	14	水	運営	港南区一斉授業研究会単元提案 港南区小学校児童音楽会提案	南台		研究・南台 実行委員長	桜岡	野庭すずかけ		音楽集会、音楽朝 会、今月の歌
7	12	水	研究	実践提案① 港南区小学校児童音楽会係決定	下野庭		下野庭 芹が谷	下永谷	日隈山	永谷	
8	17	木	研修	指揮法研修 10:00~12:00 (例年2部履で半数にわかれて実施)	桜岡	桜岡小学校 校長 後藤 俊哉先生 新井光吉第二小学校 校長 鹿島 典子先生	研修部	下野庭	日下 日野		
29		火	研修	音楽科指導法研修 PM 「子どもの具体的な姿を通して見えてくる、音楽科における資質・能力の育成～授業づくりで大切にしたいこと～」	桜岡	筑波大附属小学校 高倉 弘光先生	市音研 研修部	市音研	市音研		
9	13	水	研修	器楽指導法研修、評価について	桜岡	港南台第三小学校 副校長 渡田美穂先生	研修部	芹が谷	日野南		
10	11	水	研究	実践提案②	相武山		芹が谷南 相武山	芹が谷南	南台	野庭すずかけ	
11	8	水	研究	港南区一斉授業研究会指導案検討① 港南区小学校児童音楽会打ち合わせ	南台		研究部・南台 実行委員長	相武山 永野	丸山台 吉原		お悩み相談
11	16	木	運営	港南区小学校児童音楽会	港南公会堂	桜岡小学校 校長 後藤 俊哉先生					
17		金	運営	港南区小学校児童音楽会	港南公会堂	小中学校企画課 指導主事 三宅 智恵先生					
12	13	水	研究	港南区一斉授業研究会指導案検討②	南台		研究部・南台	永谷 野庭すずかけ	上大岡 港南台第一		ICT活用
1	17	水	研究	港南区一斉授業研究会	南台	桜岡小学校 校長 後藤 俊哉先生	研究部・南台	日隈山 日下	港南台第二 港南台第三		
2	21	水	運営	年間研究活動の反省	芹が谷南		副部長	部長	小坪		お悩み相談

○運営委員会および役員会(必要に応じて設定する)

時期	出席者	内容	提案
5月	運営委員	音楽会細案	音楽会実行委員長
9月	・部長・副部長 ・研修・研究担当 ・音楽会実行委員	音楽会運営	音楽会実行委員長
10月		音楽会運営・一斉研指導案	提案者・音楽会実行委員長
2月	長・副委員長	年間活動反省・次年度の計画	部長

○記録の担当校は、会報「ハーモニー」の作成をする。作成した「ハーモニー」は、Google classroomへ載せる。
○研究会の提案・司会・記録・楽曲紹介・実践提案については、部員名簿の学校順に輪番とする。(学校事情による入れ替えは考慮する。)
それぞれ、昨年度の続きからスタートする。

1 研究主題

「誰もが『楽しい』『できる』と感じる音楽科の授業づくり」
 ～他者と協働しながら音楽的な見方・考え方を働かせる子どもの姿を目指して～

2 研究主題について

音楽科では、学習内容や時間のまとまりを見通して、資質・能力を育成していく中で、児童の主体的・対話的で学びの深い実現を図るようになっていることが求められている。子どもたちが協働したり、じっくり考えたりしながら音楽活動をする喜びや楽しみを味わい、主体的に学習に取り組む姿が見られるような授業内容や、活動の工夫を研究していくことで、音楽の得意・不得意関係なく、誰もが楽しみながら活動に取り組むことができることを目指し、音楽を愛好する子どもが増えていくことを願って、この主題を設定した。

3 研究方法

- (1) 一斉授業研究会を通して、授業における指導・支援の在り方を研究する。
- (2) 講師を招いた実技研修会を行い、実技指導の向上を図る。
- (3) 部員の実践提案を通して、効果的な指導・支援の在り方を研究する。
- (4) 区児童音楽会を開催して各学校の演奏を聴き合い、合唱や合奏の指導力を高める。
- (5) 研究会広報で、出席できなかった部員も研修できるようにする。

4 研究組織と役割分担

☆世話人校長	帷子小	梅田	佳美	先生
☆世話人校長	上星川小	西山	久美子	先生
☆世話人校長	今井小	松永	史郎	先生

部長	坂本小	河田 立幸	・研究部の運営 ・名簿作成 ・講師連絡 ・地域振興課との連携
副部長	上菅田笹の丘小 保土ケ谷小	西場 翠 廣井 香織	・開催通知・案内状 ・会計 ・行事
研究	主任 藤塚小 七尾 結 副主任 境木小 彌榮 桂子		・実践提案の司会・記録 ・一斉授業研究会での司会、記録 ・指導案検討や研究会の進め方、持ち方の計画・進行 司会、記録
一斉授業研	初音が丘小		
研修	主任 峯小 矢澤万里子 副主任 仏向小 古田 彩奈		・研修内容決め、進行、記録
行事 「区児童音楽会」	主任 星川小 北島 笑子 副主任 上星川小 山崎 光穂		・提案、運営、調整、連絡等

5 年間計画

日にち	活動内容	会 場	司 会	記 録
4月12日(水)	研究組織の作成と年間計画 自己紹介、役員紹介、年間計画の確認 研究、研修、行事 の分担決め	帷子小	部長	副部長
5月17日(水)	R5年度区音楽会について(提案) 研修内容を決める (持ち寄り型の研修)	帷子小	部長 研修部 (峯小)	副部長 研修部 (新井小)
6月14日(水)	実践提案①境木小学校 区児童音楽会について 交通手段、タイムテーブル	帷子小	研究部 (坂本小)	研究部 (初音が丘小)
7月12日(水)	研修部による研修会① (指揮法研修までに音楽会の曲が決ま っているとよい)	帷子小	研修部 (峯小)	研修部 (境木小)
8月16日(水)	指揮法研修 講師：帷子小 梅田 佳美校長先生	帷子小	研修部 (岩崎小)	研修部 (星川小)
9月13日(水)	研修部による研修会② 区児童音楽会について プログラム、係分担	帷子小	研修部 (権太坂小)	研修部 (坂本小)
10月11日(水)	実践提案②③ 桜台小学校 星川小学校	帷子小	研究部 (今井小)	研究部 (帷子小)
11月8日(水)	区一斉授業研究会指導案検討①	初音が丘小	研究部 (低：上星川小) 研究部 (高：川島小)	
1月25日(木) 午後～ 1月26日(金) 午前・午後 3公演の予定	・区児童音楽会 1日目 講師：(未定) 2日目 講師：(未定)	保土ヶ谷 公会堂	行事部	行事部
12月13日(水)	区一斉授業研究会指導案検討②	初音が丘小	研究部 (低：坂本小) (高：境木小)	研究部 (瀬戸ヶ谷小) (帷子小)
1月17日(水)	区一斉授業研究会 講師：(未定)	初音が丘小	研究部○ 藤塚小	研究部 境木小○
2月21日(水)	年間の反省 次年度に向けて	帷子小	部長	副部長

♪各月、音楽会についての内容や連絡などが少しずつ入る。

◆実践提案校順番

常盤台→瀬戸ヶ谷→上菅田笹の丘→上星川→岩崎→峯→川島→権太坂→境木→桜台
 (R2年度) (R3年度) (R4年度) (R3年度) (R4年度) (R5年度)
 →星川→藤塚→初音が丘→坂本→保土ヶ谷→帷子→今井→新井→仏向
 (R5年度)

令和 5 年度 旭区音楽研究会 活動計画

- 1 研究主題 ときめく つながる 響き合う 音楽科学習
～音や音楽との出会いを大切に、思いや意図をもち、
協働して音楽活動をする子どもの姿を目指して～

研究方針

- ◎音楽科の基礎基本や学習の主題をしっかりととらえて、研究を進めていく。
- ◎個に応じた指導の充実を図るための支援の在り方を探っていく。

研究の進め方

- ・学習の主題とその展開について、実践提案をもとに研究討議を行う。(1本30分以内で提案)
- ・提案は、指導案形式にこだわらない。テーマとのかかわりを重点的に提案する。プリント資料に加えて、映像又は音源(ポイントを絞って使用)で、子どもの変容やテーマにかかわる部分を補足する。
- ・事前に扱う教材を伝えておき、各学校の取り組みを情報交換できるようにする。
- ・提案の1週間前までに提案資料を研究会の一斉メール(各学校主任のアドレス宛)に送信する。
- ・テーマにせまるために考え、工夫したことをもとに話し合いを進める。
- ・研究会のはじめなどに、情報交換の時間を適宜設ける。

- 2 役員(敬称略) 横浜市小学校教育研究会会長 濱田 哲也 旭区小学校教育研究会会長 鈴木 亘世

世話人校長	池田 千穂(若葉台)	藤本 萌(都岡)		
部長	○川井 左近山 ◎中尾 南本宿			
副部長	不動丸 上川井 都岡 ◎今宿			
研究部	◎上白根 ○笹野台 東希望が丘 若葉台			
研修部	○今宿南 白根 ◎鶴ヶ峯 万騎が原			
行事部	中沢 ◎希望ヶ丘 ○さちが丘 本宿			
広報部	善部 市沢 ◎四季の森 ○二俣川			

3 活動内容

副部長 ブロック	部員名簿・出欠席名簿の作成。活動計画の作成。(部長作成のものに担当者名を記入) 年間の研究会お知らせ作成、配付。年間の反省まとめ。一斉授業研究会はじめの言葉。
研究部	学習の主題と展開について、実践提案をもとに研究討議を行う。一斉授業研の計画・運営。
研修部	研究主題に関わる内容の実技研修や講演会の企画・運営。
行事部	旭区児童音楽会の計画・運営。
広報部	各研究会の記録及び旭区音楽研究会だよりの編集と発行。

4. 年間活動計画

月日		内 容	会場	司 会	記 録
4/12 (水)	総会	研究組織づくり 年間計画決定	東希望 が丘	部長 (小川)	部長 副部長 (今宿)
5/17 (水)	研修	(楽器の奏法とメンテナンス) 研修①	東希望 が丘	研修部 (鶴ヶ峯)	広報部 (二俣川)
6/14 (水)	研究	実践提案① 上白根小学校	希 望 が 丘	研究部 (若葉台)	広報部 (市沢)
		教科書見本の閲覧			
	行事	区児童音楽会について 1		行事部(希望ヶ丘)	
7/12 (水)	研究	実践提案② 今宿小学校	東 希 望 が丘	研究部 (笹野台)	広報部 (四季の森)
	行事	区児童音楽会について 2		行事部(希望ヶ丘)	
8/17 (木) ※曜日注意	研修	(指揮法)研修②	東 希 望 が丘	研修部 (今宿南) (万騎が原)	広報部 (善部)
9/13 (水)	研究	一斉授業研究会指導案検討 第1回	善部	研究部 (上白根) (東希望が丘)	広報部 (善部) (善部)
	行事	区児童音楽会について 3		行事部(希望ヶ丘)	
10/11 (水)	研究	一斉授業研究会指導案検討 第2回	善部	研究部 (上白根) (東希望が丘)	広報部 (善部) (善部)
	行事	区児童音楽会 最終確認		行事部(希望ヶ丘)	
11/6 (月)	行事	旭区児童音楽会 (1日目・2日目)	泉 公 会 堂		行事部 各担当
11/7 (火)					
11/8 (水)	研究	旭区一斉授業研究会	善部	研究部 (上白根) (東希望が丘)	広報部 (善部) (善部)
12/13 (水)	研修	研修③ 内容は検討中	東 希 望 が丘	研修部 (白根)	広報部 (市沢)
	行事	令和5年度児童音楽会の日程、 出演児童数調査		行事部 (希望ヶ丘)	
	副部長	活動のまとめ・反省について		副部長 (今宿) ※アンケート配布	
1/17 (水)	研究	実践提案③④ 都岡小学校 白根小学校	東 希 望 が丘	研究部 (笹野台) (笹野台)	広報部 (市沢) (市沢)
2/21 (水)	総会	R5年児童音楽会日程決定・配付 まとめと反省 令和5年度役員決めについて	東 希 望 が丘	行事部(希望が丘) 副部長 (今宿) 部長 (小川)	広報部 (四季の森)

○ 令和5年度実践提案校・・・上白根、白根、都岡、今宿

○ 一斉授業研究校・・・・・・・・善部小

令和5年度 磯子区音楽研究会 活動計画

1 研究主題

音楽の楽しさや美しさを感じ取り、思いや意図をもって主体的に表現しようとする子どもを目指して
～曲との出会いを大切に、友達のよさを認め合いながら表現を高め合う子の育成～

2 主題設定の理由

音楽学習では、子どもが、音楽的な見方、考え方を働かせて主体的に学ぼうとする態度が求められる。そのためには、子どもが、音楽の楽しさや美しさを感じ取り、どのような表現をしたいのか思いや意図を持つことが大切である。そこで、「こう表現したい!」「もっと聴きたい!!」と思うことができるような曲との出会いを大切に、友達とよさを認め合いながら、生き生きと活動することができる手立ての工夫や指導法についての研究を深め、テーマに迫っていかれるようにしたい。

3 研究方法

- (1) 研究主題に沿った指導法の研究 〈研究会〉
- (2) 指導技術向上のための実技研修 〈研修会〉
- (3) 児童の活動を通じた研究 〈区児童音楽会〉

4 研究組織

研究組織は、部長・行事部 研究部 研修部の3部会とする。

- 世話人校長 鈴木 和枝 校長先生 (さわの里小学校)
- 青木 圭介 校長先生 (浜小学校)
- 世話人副校長 花本 敏夫 副校長先生 (梅林小学校)
- 下川 真智子 副校長先生 (屏風浦小学校)

令和5年度の組織

部長・副部長・行事部	研修部	研究部
・研究会の運営 ・区音楽会の計画と運営	・研修会や実践提案の計画と運営	・研修会や実践提案の計画と運営
【 A グループ】	【 B グループ】	【C グループ】
・部長 洋光台第三小 ・副部長 洋光台第一小 ・行事 ◎山王台小 洋光台第二小 浜小 杉田小	◎根岸小 さわの里小 森東小 梅林小 滝頭小	◎洋光台第四小 磯子小 岡村小 屏風浦小 汐見台小

※ 音楽研だより『音楽の風』の発行・・・毎月のA研の後、記録係が音研だよりを作成し、区研究会長
世話人校長・副校長・各学校の音楽部員宛に送付する。

5 年間活動計画

日時	主な内容	提案	講師	司会	記録 (音研だより発行)	会場
4/12 (水)	自己紹介 研究主題、方法検討 研究会の組織づくり 年間計画の検討	幹事		幹事	幹事	汐見台
5/17 (水)	実践提案 (梅林・さわの里)	研修		研修 (根岸)	研修 (森東)	根岸
6/14 (水)	研修	研修	澁田美穂 副校長先生	研修 (根岸)	研修 (滝頭)	根岸
7/12 (水)	区児童音楽会 打合せ	行事		行事 (山王台)	行事 (洋二)	洋二
8/16 (水)	指揮法研修 区児童音楽会連絡	研修 行事	松永史郎先生 蒲谷猛校長先生	研修 (梅林) (さわの里)	研修 (梅林) (滝頭)	根岸
9/13 (水)	実践提案(根岸)	研修		研修 (梅林)	研修 (根岸)	根岸
10/11(水)	研修 区音楽会確認	研修 行事	松崎由里子 校長先生	研修 (滝頭)	研修 (さわの里)	根岸
11/8 (水)	指導案検討① 区音楽会最終確認	研究		研究 (岡村) (屏風浦)	研究 (汐見台) (岡村)	磯子
11/9(木) 10(金)	区児童音楽会					磯子 公会堂
12/13(水)	指導案検討②	研究		研究 (屏風浦) (洋四)	研究 (汐見台) (汐見台)	磯子
1/17 (水)	区一斉授業研	研究	高島典子先生 鈴木和枝先生	研究 (洋四) (岡村)	研究 (岡村) (屏風浦)	磯子
2/21 (水)	年間反省 来年度に向けて	幹事		幹事	幹事	洋三

金沢区音楽研究会年間計画

1 研究主題

金沢区小学校教育研究会研究主題

「社会に開かれた教育課程の創造・実践」

～主体的・対話的で子ども一人ひとりの深い学びを実現する授業をめざして～

音楽科研究主題

「音楽の楽しさ・美しさを感じとり、

一人ひとりが生き生きと表現する子どもをめざして」

～主体的・対話的で深い学びを支える教師の支援のあり方～

2 研究の進め方

- ・基礎・基本の定着を図り、生き生きと表現できる学習の在り方について授業実践を通して研究する。
- ・授業実践や実技研修を通して教師の支援の在り方を研究する。
- ・児童の演奏活動を通して望ましい音楽表現の在り方を研究する。

3 研究の組織と内容

世話人校長 (松崎 由里子・並木第一) (黒田 由希子・西富岡)

世話人副校長 (長谷川 亜紀子・朝比奈)

部長 (小野 智子・金沢)

- ・市、区内の連絡調整
- ・市(支部長会)、区(企画会)出席
- ・研究会場への連絡、依頼状、礼状、確認
- ・音楽会会場予約

副部長 (富岡 恵利子・富岡)
(吉岡 美咲・西金沢)

- ・部長補佐、部長代行
- ・出席簿管理
- ・研究会関係の書類作成(開催案内)、保管
- ・親睦会のとりまとめ
- ・記録の管理
- ・Googleドライブの管理

会計 (坂本 友美・西柴)

- ・会計

研究部 主任 (佐竹 瑠衣・並木第一)
副主任 (町田 真委・並木中央)

- ・区研の研究テーマにせまるための研究の推進
- ・研究会の企画、運営(準備・片づけを含む)
- ・区授業研の協力、運営
- ・授業研究会の記録、報告
- ・研究部司会のときの記録、報告

研修部 主任 (林 美絵子・六浦南)

- ・実技研修の計画と運営(準備・片づけ・伴奏を含む)
- ・区研究会での実技研修
- ・研修部司会のときの記録、報告

行事部 主任 (石田 純子・小田)
副主任 (小林 史佳・釜利谷南)

- ・区児童音楽会の計画・立案・運営
- ・反省会記録・運営
- ・運営などの反省とまとめ
- ・行事部司会のときの記録、報告

☆各部に主任、副主任を置くとともに、音楽研究部員はいずれかに属して活動する。
☆部長、副部長は各部の主任を兼任しない。

4 その他

- ・区児童音楽会については、前年度に調整・各校周知済み 6月に原案を出す。
- ・役割があるときに、どうしても出席できない場合は、校内で調整するか、代理の人を各自で頼み、各部の主任に連絡する。記録は内容をまとめてGoogle classroomにアップする。
- ・実践提案は、学校名簿順に輪番で3～4校ずつ担当する。(ただし、一斉研提案校を除く)
- ・音楽研修で扱う曲については、楽譜を印刷した場合はその場で回収する。
教科書に掲載されている曲を扱う場合は、担当者が研修部主任に1週間前までに連絡する。
- ・A研の最後の5分くらいで情報交換の時間を取る。

令和5年度 音楽研究会年間計画

日程 (毎月水曜)	開始時刻	種別	内 容	提 案	司 会	記 録 (広報)	音 楽 (研修)	会 場
4 月 12 日	15:30		年度計画・役割分担	旧役員 行事	旧役員	旧役員		並一
5 月 17 日	15:30	研修	音楽づくり研修 講師:鈴木先生	研修	釜利谷南	八景		西富岡
6 月 14 日	15:30	行事	音楽会原案	行事	西富岡	金沢	瀬ヶ崎	釜東
7 月 12 日	15:30	研修	実践提案 ①金沢 ②朝比奈	研修	六浦南	六浦	富岡	釜東
8 月 17 日	15:30	研修	指揮・歌唱研修 講師:高島先生	研修	金沢	富岡	伴奏(必要に応じ) 西金沢	西富岡
9 月 13 日	15:30	研究	指導案検討①	研究	低:高舟台 高:並一	低:西柴 高:文庫		能見台
10 月 11 日	15:30	研究	指導案検討②	研究	低:小田 高:西金沢	低:瀬ヶ崎 高:並中央		能見台
10 月 日		役員会	音楽会案内状発送					
10 月 24 26 27日		金沢区児童音楽会						金沢 公会堂
11 月 8 日		研究	区一斉研	研究	低:富岡 高:西金沢	低:能南 高:西柴		能見台
12 月 13 日	15:30	研究	鑑賞研修 講師:松崎先生	研究	釜利谷	西富岡	六浦	釜東
1 月 17 日	15:30	研究	実践提案 ③釜利谷	研究	西富岡	釜利谷東	大道	釜東
2 月 21 日	15:30		年度末反省 情報交換	役員	役員	役員	文庫	釜東
3 月 日		役員会	新年度計画	役員				

実践提案校予定 : R5 ➡ 朝比奈 ・ 金沢 ・ 釜利谷

区一斉授業研究会 提案校 : 能見台 (R5) ➡ 並木第一 (R6) ➡ 小田 (R7)

※一斉研授業校と実践提案校は入れずに係分担を行います。

令和5年度 港北区音楽研究会活動方針

1 研究主題

一人ひとりが生き生きと豊かに表現できる音楽活動をめざして
～音楽的な感性を働かせ、主体的な学びを促す授業づくりを通して～

2 主題設定の理由

音楽学習において、子ども自身が音楽的な見方、考え方を働かせて学ぼうとする主体的学習が、自己のものとして展開されていくとき、初めて生き生きとした楽しい学習が実現する。

そこで、子ども一人ひとりの音楽に対する思いや表現意欲を大切にし、創造的に生き生きと活動できるような指導と支援の在り方を研究し、生涯にわたって音楽を愛好する心情と、音楽に対する豊かな感性の育成を願って本主題を設定した。

3 研究のすすめ方

- ・講師を招いて実技研修を行うほか、各校による実践提案を行う。
- ・研修会で行うことは、できるだけ早く予告し、全員で取り組めるようにする。
- ・互いに資料提供を積極的に行い、活発な話し合いのもと内容を深め、日ごろの学習指導等に役立てる。
- ・広報「こんつえと」を作成し、発送する。

4 港北区教育研究会会長

井上 強先生 箕輪小学校校長

5 世話人校長・副校長

館 雅之 先生 太尾小学校校長
板橋 典子 先生 新吉田第二小学校校長
菊地 園子 先生 下田小学校副校長
平野 千恵 先生 太尾小学校副校長

6 研究体制 [学校数 26校]

令和5年度より輪番制を採用

☆一斉研授業校はすべての役割を免除する。

☆役免校の年に一斉研があつた場合は、翌年の「研究・研修校」を免除にする。

○輪番グループ

	A	B	C	D	E
1	大曽根	駒林	新吉田	綱島東	太尾
2	大綱	篠原	新吉田第二	新田	大豆戸
3	菊名	篠原西	高田	新羽	箕輪
4	北綱島	下田	高田東	日吉台	師岡
5	港北	城郷	綱島	日吉南	矢上
6	小机				

○役員輪番順

	役員校	記録校	行事校	研究・研修校	役免校
R5	A	B	C	D☆	E
R6	B☆	C	D	E	A
R7	C	D	E☆	A	B
R8	D	E	A	B	C
R9	E	A	B	C	D

☆…一斉研校のあるグループ

役員校…区音楽研究会全体の運営

部長	港北小	田中 千恵
副部長	大曽根小	森本 安希子
会計	大綱小	田中 知子
音楽会主任	菊名小	伊藤 里穂
	小机小	小山 洋子
研究・研修部主任	北綱島小	清水 瑠美子

記録校…こんつえるとの執筆、発送

4月	篠原西小	7月	下田小	10月	低:篠原小 高:駒林小
5月	篠原西小	8月	下田小	12月	低:篠原小 高:駒林小
6月	篠原西小	9月	城郷小	1月	低:篠原小 高:駒林小
				2月	城郷小

行事校…区音楽会全体にかかわる準備

保護者 チケット作成・受付		賞状 データ作成・用紙配付	
会場 座席・導線作成		プログラム作成・反省集約	
会場 放送・照明・掲示準備			

研究・研修校…実践提案(2校)、研修の計画、一斉研の運営

5月	音楽会 説明		10月	指導案検討①	司会:綱島東
6月	音楽会 計画	日吉南	11月	音楽会	
7月	実践提案	日吉南・日吉台	12月	指導案検討②	司会:新羽
8月	研修①	綱島東	1月	一斉研	司会:日吉台
9月	研修②	新羽	2月	年間反省	

7 年間活動計画

月	日	曜日	場所	内容
4	12	水	新吉田第二小	年間活動計画・研修計画
5	17	水	新吉田第二小	港北区児童音楽会 要綱説明
6	14	水	新吉田第二小	港北区児童音楽会 係計画
7	12	水	新吉田第二小	実践提案
8	17	木	新吉田第二小	研修①
9	13	水	新吉田第二小	研修②
10	11	水	新田小	区音楽会打ち合わせ 指導案検討①
11	8～10	水～金	港北公会堂	港北区児童音楽会
12	13	水	新田小	音楽会反省・次年度計画 指導案検討②
1	17	水	新田小	区一斉授業研
2	21	水	新吉田第二小	年間反省 役員校・役員分担決め
R6.4	10	水	未定	年間活動計画・研修計画

緑区音楽研究会 年間活動計画

1. 研究主題

「音楽の楽しさ、美しさを感じ取り、友達とかかわり合いながら

自分らしく表現しようとする子を育てる学習指導のあり方」

～一人ひとりが生き生きと表現する力を伸ばすための支援のあり方をさぐる～

2. 主題設定の理由

音楽学習においては、子ども一人ひとりが表現や鑑賞の活動を通して音楽の楽しさ、美しさを感じ取り、よりよい表現に向けて自ら工夫し創り上げていくことが大切である。子ども一人ひとりの思いや願いによる表現は、それぞれ異なり多様である。その思いや願いを大切に、自分の音楽表現を楽しむ喜びを味わえるようにするためには、教師の適切な支援が求められるようになってくる。

そこで、研修や情報交換を通して教師自身の資質を高めるとともに、指導法を検討しあい、教育課程の実践に向けて研究を進めていきたいと考える。

＜研究主題のとらえ＞

○「音楽の楽しさ・美しさを感じ取ること」について

子どもたちは音楽の楽しさ・美しさを感じ取るとき、様々な場面でそれらをとらえている。例えば次のような場面が考えられる。

① 音楽そのもののよさ（音楽的な要素）を感じ取る場面

→拍や拍子、リズム、旋律、フレーズ、和声、音色、協奏、構成など、音そのものの楽しさや美しさ、そして、楽曲の楽しさや美しさを感じ取っていく。

② 表現や鑑賞活動における活動そのものを楽しみ味わう場面

→多様な学習活動の中で、楽しさや美しさを感じ取っていく。

③ 音楽の生まれた時代や背景、作曲家など、間接的に音楽に関心をもつことをも含めて、広く音楽への興味・関心を広げていく場面

→自分なりのこだわりや生活経験、体験ともかかわり合いをもっていく。

子どもたちが、「音楽って楽しいな、いいな」と興味・関心をもつきっかけは千差万別で、一人ひとり違っている。活動場面として前述したように、音楽そのものに楽しさや美しさを感じて感動したり、歌う、聴く、身体表現をする、友だちと一緒に活動する・演奏するなどの音楽活動を通して表現することへの思いを膨らませたり、また、作曲家や音楽の時代背景など、各自の音楽世界の拡大を図ったりすることで、未知なるものに触れる楽しさを感じたりすることも考えられる。したがって、子ども一人ひとりの思いや願いを様々な場面で見取りながら、「音楽の楽しさ・美しさ」を感性面や知性面、心情面等を含めて広くとらえていくことが大切である。

○「自分らしく表現しようとする」について

「自分らしく表現する」とは、自分なりの音楽の楽しさ・美しさの感じ方を大切にしながら、自分らしい音楽表現を創り出そうとすること、また、自分なりの方法で表現しようとする事等が考えられる。言い換えれば、「自分の音楽づくり」を楽しむことでもある。この自分らしさを発揮しながら学習をすすめる過程においては、友だち同士や教師、地域の方々等とのかかわり合いも、また、大切である。様々な人とのかかわり合いの中で、共に創り上げる楽しさを味わうことができ、共感したり自分が変容したりすることができるからである。そして、自分の音楽表現をさらに広げたり、深めたりすることができるからである。

3. 研究内容

○子どもの思いをふくらませる学習過程の検討

○一人ひとりが自分の感じ方を生かせる学習活動の工夫

○自己表現力を高める指導法の工夫

4. 研究方法

○指導に必要な実技研修を通し、教師の資質の向上を図る。

○公開授業や指導法研究を通して主題に迫る研究を進める。

5. 研究組織

研究会長	堂腰 康博先生（東本郷小学校）
世話人校長	大幸 麻理先生（森の台小学校）
世話人副校長	新海 秀美先生（三保小学校）
部長	柴田 香織先生（長津田第二小学校）
庶務	須永 佳子先生（十日市場小学校）
会計	細木 萌香先生（竹山小学校）
渉外	針貝 美帆先生（三保小学校）
行事部主任	小幡 遼 先生（鴨居小学校）
研究部主任	室谷 友起子先生（中山小学校）
研修部主任	谷 彩子先生（山下みどり台小学校）

6. 年間活動計画令和5年度年間活動計画

日程			活動内容	楽曲紹介	会場	司会	記録
4	12	水	年間計画・活動組織について	向井 (山下)	森の台	向井 先生 (山下)	小幡 先生 (鴨居)
5	17	水	【研修①】 器楽：鍵盤ハーモニカ 講師：梅田 佳美 先生		森の台	三浦 先生 (いぶき野)	山口 先生 (十日市場)
6	14	水	実践提案① 森の台小学校 情報交換	松本先生 (十日市場)	森の台	向井 先生 (山下)	高取 先生 (山下)
7	12	水	【研修②】 歌唱 講師：太田 理絵 先生		森の台	原 先生 (長津田第二)	大谷 先生 (中山)
8	17	水	【研修③】 指揮法 講師：平井 保先生		森の台	山田 先生 (山下)	松田先生 (三保)
9	13	水	区一斉授業研指導案検討①		山下	低：関根先生 (長津田) 高：細谷先生 (三保)	低：久松先生 (東本郷) 高：折原先生 (森の台)
10	11	水	区一斉授業研指導案検討②		山下	低：山田先生 (いぶき野) 高：浜村先生 (竹山)	低：大村先生 (霧が丘) 高：杉園先生 (緑)
11	8		緑区一斉授業研		山下	研究部	研究部
11	14 16 17	火 木 金	緑区児童音楽会 1日目：緑公会堂 2日目：緑公会堂 3日目：緑公会堂		緑公会堂		
12	13	水	実践提案② いぶき野小学校	水上先生 (鴨居)	森の台	室谷 先生 (中山)	網田 先生 (長津田第二)
1	17	水	【研修④】 デジタル教科書の活用について		森の台	堤 先生 (上山)	塚本 先生 (森の台)
2	21	水	年間のまとめと反省、役員選出	室谷 (中山)	森の台	柴田 先生 (長津田第二)	須永 先生 (十日市場)

<緑区一斉授業研授業校>

R5年度（山下）R6年度（いぶき野） R7年度（森の台） R8年度（新治）R9年度（鴨居）

<指導法研修実践提案校>

R5年度（森の台、いぶき野）

令和5年度 青葉区音楽研究部 年間活動計画

- 1 研究主題 「音楽を愛好する心情と感性をはぐくみ、豊かな情操を養う音楽学習」
 ～音楽の楽しさ・美しさを感じ取り、友だちと関わり合いながら、
 一人ひとりが生き生きと表現する姿を目指して～

2 主題設定の理由

音楽科において育成を目指す資質・能力は、音楽活動の楽しさを体験することを通して音楽を愛好する心情とともに育まれる。音楽に対する感性を豊かにしたり、音楽に親しんでいく態度を養ったりすることで豊かな情操を培っていく教科の特性を生かし、音楽的な見方・考え方を働かせながら、資質・能力の育成を目指すことが大切であるとする。

子どもたち一人ひとりが表したい音楽表現や音楽のよさを見だし、音楽に対する自分なりの考えをもち、友だちと交流しながらさらに考えを深め学習を進めていけるような授業づくりを目指して本主題を設定した。研究主題にある児童の姿を目指して研修や研究を深めていきたいと考える。

3 研究方法

- (1) 実技研修会 (2) 指導技術研修会 (3) 主題研究会(実践提案・区一斉授業研) (4) 児童音楽会

4 組織と各部の内容

○研究会会長 近江 学 (美しが丘西)	○世話人校長 山本佐知子 (あざみ野第一) 仲川美世子 (榎が丘) 大原 敦子 (田奈)	○世話人副校長 小島多加江 (美しが丘) 山本 慶子 (東市が尾) 松井 康仁 (谷本)
------------------------	---	---

○部長 南澤 香里 (谷本)	○副部長 松本美由紀 (元石川)	○研究部長 鹿野雄一郎 (嶮山) ○研修部長 折居明日香 (荏田西) ○行事部長 松崎さとみ (黒須田)
-------------------	---------------------	--

○部長：市・区の事務連絡、調整、講師の依頼、礼状作成、支部長会、教育研究会に関わる書類の作成。区教育研究会に関わる書類の作成。

○副部長：部長の補佐をし、部長が出張や任務を行えない時に代行する。名簿と記録の管理。

○行事部：区児童音楽会の計画と運営を行う。

○研究部：研究主題にそった実践提案や授業研の運営をする。

○研修部：研修計画と教職員音楽会の推進をする

5 区授業研予定校 授業日：11月8日(水)

5年度	6年度	7年度
奈良小	つつじが丘小	美しが丘小

6 主題提案・実践提案予定校

5年度	6年度	7年度
元石川小	みたけ台小	藤が丘小

7, 活動の概要

月	日	曜 日	内 容・講 師	司会	記録	会 場
4	12	水	・年間活動計画について ・組織作り ・令和5年度青葉区児童音楽会について ※市音楽研会費集金	役員	役員	あざみ野第一
5	17	水	指導技術研修①【指揮法】 講師 北部学校教育事務所 橋本ゆい子先生	鉄	美しが丘	あざみ野第一
6	14	水	指導技術研修② 【ICT技術研修】 講師 横浜市荏田西小学校 折居明日香先生	美しが丘東	東市が尾	谷本
7	12	水	区児童音楽会について ※要項配布 当日の役割り分担	役員	役員	黒須田
8	17	木	指導技術研修③ (検討中)	もえぎ野	みたけ台	谷本
9	13	水	区授業研 指導案検討① 指導案の構想・略案など提示	さつきが丘 田奈	つつじが丘 鴨志田緑	奈良
10	11	水	区授業研 指導案検討②(模擬授業) ※授業研にむけて研究部役割分担	さつきが丘 田奈	つつじが丘 鴨志田緑	奈良
11	8	水	区一斉授業研 横浜市立 奈良小学校 先生 横浜市立 奈良小学校 先生	鴨志田第一 嶮山 (全体会) 副部長	奈良の丘 青葉台 (全体会) 研究部部長	奈良
12	13	水	令和5年度青葉区児童音楽会反省	役員	役員	谷本
1	17	水	主題提案・実践提案 提案 元石川小学校	鴨志田第一	奈良	元石川
2	21	水	一年間の反省・次年度の計画	役員	役員	谷本

令和5年度 都筑区小学校音楽研究会 年間計画

1 研究主題

音楽の楽しさや喜びを味わい 自分の思いを豊かに表現する子どもを育てる支援のあり方

2 主題について

音楽教育は音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育て、音楽活動の基礎基本を培うことを通して、豊かな人間性を養うことをねらいとしている。また、生き方の教育を推進する音楽教育においては、様々な音楽や音楽によるコミュニケーションを通して互いの表現のよさに気づき、感じたことや思いを豊かに表現することによって、よりよい生き方を作り出すことが大切である。その過程で豊かな想像力や感性を働かせ、ともに音楽の楽しさや喜びを味わい、分かち合い、自己を見つめ、問題解決に向けて自分の思いを生かすことができる子どもの育成をねらい、このテーマを設定した。

3 研究のすすめ方

- (1) 授業研究による研究
- (2) 実技研修による指導技術の研究 実技研修
- (3) 児童の活動を通じた研究 児童音楽会

4 研究組織

都筑区小学校教育研究会会長	つづきの丘小学校	校長	田淵	恵子先生
世話人校長	都田小学校	校長	今村	行道先生
世話人副校長	牛久保小学校	副校長	柏木	次郎先生
世話人副校長	茅ヶ崎東小学校	副校長	山田	和仁先生

推進委員	部長	折本	小学校	慶長	明代
	副部長	中川	小学校	松本	祐子
	研究研修部主任	川和	小学校	野口	利子
	副主任	牛久保	小学校	吉村	有紀
	行事部主任	都田	小学校	関	ゆかり
	副主任	勝田	小学校	倉石	遥

研修担当校（名簿の番号が奇数の学校） 行事担当校（名簿の番号が偶数の学校）

- * 研修担当校、行事担当校の分担は毎年研修・行事を交代します。
 - * 区児童音楽会については行事部が中心となり、音楽部全員で運営します。
- 本年度の日程（予定）は16日(木)・17日(金)です。

5 その他の担当について

本年度の区一斉授業研究会提案校は南山田小学校です。

（R6年度は茅ヶ崎東小学校、R7年度は都田小学校の予定です。）

本年度の実践提案予定校は川和東小学校・都筑小学校です。

令和5年度研究活動・情報交換及び役割分担について

月 日	研 究 活 動	司 会	記 録	情報コーナー	研究会場
4月12日(水)	研究活動組織・研究主題・年間計画について 担当内係決め	役員	役員	お悩み解消コーナー (フリートーク)	東山田
5月17日(水)	研修①「音楽づくり」 講師：都田小学校 校長 今村行道先生	川和	中川西	お悩み解消コーナー (フリートーク)	川和
6月14日(水)	区児童音楽会 要項説明	茅ヶ崎東	中川	お悩み解消コーナー (フリートーク)	川和
7月12日(水)	実践提案 3年生：都筑小 6年生：川和東小	都田西	つづきの 丘	お悩み解消コーナー (フリートーク)	川和
8月17日(木)	研修②「指揮法」 講師：都田小学校 校長 今村行道先生	都筑	荻田南	お悩み解消コーナー (フリートーク)	川和
9月13日(水)	一斉研指導案検討①	役員	役員	お悩み解消コーナー (フリートーク)	南山田
10月11日(水)	一斉研プレ授業・指導案検討②	役員	役員	お悩み解消コーナー (フリートーク)	南山田
11月 8日(水)	都筑区一斉授業研究会 授業校：南山田小学校 3年生：加藤 紫乃先生 6年生：徳江 由紀先生 講師：都田小学校 校長 今村 行道先生	役員	役員		南山田
11月16日(木)	都筑区児童音楽会				都筑公会堂
11月17日(金)	都筑区児童音楽会				都筑公会堂
12月13日(水)	研修③音楽室の音響設備について 講師：上飯田小学校 校長 村上雅基先生	茅ヶ崎台	勝田	お悩み解消コーナー (フリートーク)	川和
1月17日(水)	研修④合唱研修「卒業式の合唱曲を中心にした歌 唱指導の実際(仮)」 講師：名瀬小学校副校長 太田理絵先生	川和	荻田	お悩み解消コーナー (フリートーク)	川和
2月21日(水)	R5年度の反省 R6年度の役員、組織について	役員	役員	お悩み解消コーナー (フリートーク)	川和

令和5年度 奇数校＝研修 偶数校＝行事

戸塚区音楽研究会 活動計画

1 研究主題

「音楽の美しさ・楽しさを感じ取る心を育てる音楽科学習」

～一人ひとりが思いをもち、ともに考え表現する喜びを味わう姿を求めて～

2 音楽科の研究主題について

音楽科は、音楽に対する感性を豊かにしたり、音楽に親しんでいく態度を養ったりすることで、豊かな情操を培っていく教科である。そこで、児童一人ひとりが思いをもって主体的に取り組み、音楽、友達、教師とともに考え表現する喜びを味わうことのできる音楽科学習の実現を目指し、本主題を設定した。

3 研究内容・方法

- ・研究組織作成、年間活動計画作成
- ・実践報告、提案を通しての研究会
- ・一斉授業研究会事前研究会と区一斉研究会
- ・講師の先生による実技研修会
- ・区児童音楽会実施案検討会と区児童音楽会の開催
- ・年間活動計画反省会

4 研究組織

(1) 世話人校長 地主佐和子先生（南舞岡小） 工藤然理先生（川上北小）

世話人副校長 太田理絵先生（名瀬小） 佐藤朋実先生（南舞岡小） 秦恵美子先生（平戸台小）

(2) 部員 ・各校からの音楽部員で構成する（26校）

・音楽部員全員で研究会を運営する。

(3) 幹事

部 長	(1名)	新井敬子（上矢部小）
副部長	(3名)	石川結菜（川上北小） 五十嵐智美（東戸塚小） 羽藤千晴（横浜深谷台小）
研究研修部主任	(1名)	青木直美（鳥が丘小）
研究研修部副主任	(1名)	加納敦子（平戸台小）
行事部主任	(1名)	櫻井麻理（南舞岡小）
行事部副主任	(2名)	齋藤菜摘子（名瀬小） 宮川静（川上小）

5 各部活動内容

- 部 長
 - ・区研・理事会・市支部長・市音研との連絡・諸会場との連絡・講師の依頼
 - ・年間計画、報告作成・区一斉研・区音楽会・その他
- 副部長
 - ・部長の補佐・各種会合の案内や通知 ・参加者名簿の保管
 - ・区研、市研の会計 ・懇親会幹事
 - ・市研の申し込み集約
- 研究・研修部・研究会の企画運営 ・一斉授業研究会の企画・実技研修会の計画運営
- 行事部
 - ・区児童音楽会の計画運営 ・区児童音楽会の反省会の運営

6 活動日程と内容

月 日 時	内 容	提 案	講 師	司 会	記録校	会 場
4/12 (水) 15:30～	研究 研究組織の作成と 活動計画	部長 (令和5年度一斉授業研の 研究協議についてを含む)	世話人校長先生	副部長	副部長	戸塚小
5/17(水) 15:30～	研修 器楽研修	研究・研修部	講師 港南台第三小 副校長 濫田 美穂先生	研究・ 研修部	深谷小	東戸塚小
6/14(水) 15:30～	研修 行事 実践提案① 区児童音楽会提案	東品濃小 行事部	世話人校長先生	行事部	平戸小	東品濃小
7/12(水) 15:30～	研修 音楽づくり研修	研究・研修部	講師 新鶴見小校長 佐藤 朗子先生	研究・ 研修部	矢部小	鳥が丘小
8/17(木) 13:00～	行事 研修 港南公会堂研修 歌唱研修	行事部 研究・研修部	講師 下郷小 押江 恵先生	研究・ 研修部	柏尾小	港南 公会堂
9/13(水) 15:30～	研修 指揮法研修 ・区音楽会にむけて	研究・研修部	講師 並木第一小校長 松崎由里子先生	研究・ 研修部	汲沢小	鳥が丘小
10/11(水) 15:30～	行事 区音楽会係打合せ	行事部	世話人校長先生	行事部	大正小	東戸塚小
10/24(火)	行事 戸塚区児童音楽会 午前 午後		講師 並木第一小校長 松崎由里子先生			港 南 公 会 堂
10/25(水)	行事 戸塚区児童音楽会 午前 午後		講師 さわの里小校長 鈴木 和枝先生			
10/26(木)	行事 戸塚区児童音楽会 午前 午後		講師 若葉台小校長 池田 千穂先生			
11/8(水) 15:30～	研究 区一斉授業研 ・指導案検討 ・区音楽会反省	研究・研修部	世話人校長先生	柏尾小	戸塚小	小雀小
12/13(水) 15:30～	研究 区一斉授業研 ・模擬授業 ・指導案検討	研究・研修部	世話人校長先生	矢部小	下郷小	小雀小
1/17(水) 15:30～	研究 区一斉授業研	研究・研修部	講師 (調整中)	川上北小	倉田小	小雀小
2/21(水) 15:30～	研究 年度末反省	部長		部長	副部長	東戸塚小

7 その他 (1) 実践提案校は、名簿順とする。

1戸塚 2大正 3川上 4東戸塚 5汲沢 6小雀 7柏尾 8矢部 9川上北 10南戸塚 11平戸
12深谷 13横浜深谷台 14東汲沢 15名瀬 16平戸台 17鳥が丘 18上矢部 19南舞岡 20品濃 21秋葉
22東俣野 23舞岡 24東品濃 25倉田 26下郷 *太字は研究報告済み

(2) 司会の担当校は、名簿順とし、また記録担当校は、名簿の後ろから順に配当する。

令和5年度 栄区音楽研究会年間活動計画

1. 研究主題

音楽的な見方を働かせ、音楽と主体的に関わろうとする子を育てる指導の在り方
～「表現してみたい」「聴いてみたい」活動を目指して～

2. 主題設定の理由

音楽科は、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しむ態度を養っていく教科である。研究主題の「音楽的な見方を働かせる」には、曲想と音楽の構造などの関わりを理解し、音楽に対する感性を育むことが大切である。また、「音楽と主体的に関わる」ためには、「表現してみたい」「聴いてみたい」と思えるような楽しい音楽活動が大切である。

そこで、本研究会では、音楽的な見方を働かせ、子どもが進んで音楽と関わろうとするような活動を工夫することで、音楽と主体的に関わろうとする子が育つと考え上記の主題を設定した。

3. 研究内容

- 講演ならびに実践提案・討議を通しての指導法の研究 ＜指導法研究会＞
- 指導技術向上のための実技研修 ＜実技研修会＞
- 児童の演奏活動を通しての研究 ＜栄区児童音楽会＞

4. 研究組織

- (1) 研究会長 西本郷小 校長 活田 宏輔 先生
- (2) 世話人校長 飯島小 校長 河原 洋之 先生
- (3) 世話人副校長 笠間小 副校長 谷田部 康代 先生
- 本郷台小 副校長 岩田 幸子 先生
- (4) 組織図 **部員数 38名**

世話人校長先生	
部長	
研究研修担当 副部長	児童音楽会運営担当 副部長

運 営 委 員				
部 長	公田小学校 木村 一美	副部長(音楽会補佐)	桜井小学校 山本 美樹	
副部長(研究研修)	西本郷小学校 福田 みゆき	会 計	笠間小学校 高橋 由実子	
副部長(音楽会)	庄戸小学校 篠田 佳子			
学校名				
飯 島 小	○3名(専科・1年・国際教室)			
笠 間 小	○4名(専科・3年・4年・個別支援級)			
桂 台 小	○2名(2年・個別支援級)			
上 郷 小	○3名(専科・個別支援級・4年)			
公 田 小	○4名(専科・専任・1年・5年)			
小菅ヶ谷小	○3名(専科・個別支援級)			
小 山 台 小	○1名(専科)			
桜 井 小	○3名(専科・専任・特別支援)			
庄 戸 小	○3名(専科・1年・4年)			
千 秀 小	○3名(専科・専任・1年)			
豊 田 小	○2名(専科・4年)			
西 本 郷 小	○2名(専科・専任)			
本 郷 小	○3名(専科・2年・個別支援級)			
本 郷 台 小	○2名(専科・5年)			

5. 令和5年度 年間研究計画

月	日	研究内容	研究会場・開始時間	講師	担当・提案	司会	記録	備考
4	12	年間計画概要と組織決定	西本郷小 15:30	飯島小学校 校長 河原 洋之 先生	部長 公田小	副部長 西本郷小	副部長 桜井小	
5	17	実践提案①(豊田小) 栄区音楽会 提案	西本郷小 15:30		豊田小 音楽会副部長 庄戸小	幹事 西本郷小	幹事 桜井小	
6	14	実技研修①(歌唱)	西本郷小 15:30	並木第一小学校 校長 松崎 由里子 先生	研修副部長 西本郷小	飯島小	千秀小	
7	12	実践提案②(飯島小、千秀小)	西本郷小 15:30		飯島小 千秀小	豊田小	笠間小	
8	17	実技研修②(指揮法)	西本郷小 13:00	元西本郷小学校副校長 高村 明子 先生	研修副部長 西本郷小	本郷台小	小山台小	
9	13	実技研修③(鑑賞) 一斉授業校より	西本郷小 15:30	太尾小学校 校長 館 雅之 先生	研修副部長 西本郷小 桂台小	本郷台小	小山台小	
10	11	実践提案③(笠間小) 栄区音楽会 打ち合わせ	西本郷小 15:30		笠間小 音楽会副部長 庄戸小	上郷小	小菅ヶ谷小	
11	8	指導案検討①	桂台小 15:30		桂台小	本郷小	上郷小	
11	16.17	栄区 小学校 児童音楽会	栄公会堂	16日太尾小学校 校長 館 雅之 先生 17日並木第一小学校 校長 松崎由里子 先生				
12	13	指導案検討②	桂台小 15:30		桂台小	小菅ヶ谷小	本郷小	
1	17	栄区一斉授業研究会	桂台小	並木第一小学校 校長 松崎由里子 先生	研修副部長 西本郷小	幹事 笠間小	幹事 西本郷小	
2	21	年間活動計画反省 栄区小学校児童音楽会反省	西本郷小 15:30	飯島小学校 校長 河原 洋之 先生	部長 公田小 副部長(音楽会) 庄戸小	幹事 公田小	幹事 庄戸小	
令和4年度役員・・・◎上郷◎本郷・飯島・本郷台・豊田<一斉研 桜井>								
令和5年度役員・・・◎公田◎庄戸・西本郷・桜井・笠間<一斉研 桂台>								
令和6年度役員・・・◎千秀◎小菅ヶ谷・桂台・小山台・上郷<一斉研 西本郷>								
令和7年度役員・・・◎飯島◎本郷台・本郷・豊田・公田<一斉研 小山台>								
令和8年度役員・・・◎桂台◎笠間・西本郷・桜井・庄戸<一斉研 なし>								

◎部長 ○副部長 音楽会担当

令和5年度 泉区音楽研究会活動計画

1 研究主題

「音楽の楽しさ・美しさを感じ取り、豊かに表現しようとする子どもの育成」
～基礎、基本の定着を図り、生き生きと表現できる音楽学習のあり方～

2 主題設定の理由

音楽学習では、表現や鑑賞の活動を通して、音楽の楽しさ、美しさを感じ取り、よりよい表現に向けて自ら工夫し創り上げていこうとする気持ちを育てることが大切である。そこで、音楽表現を楽しむ喜びが味わえるよう、基礎、基本の定着を図り、児童の思いや願いを大切にしたい支援のあり方や、学習内容、活動の工夫を追求しなくてはならないと考える。子ども達が生き生きと表現できる音楽学習の実現をめざして本主題を設定した。

3 研究内容

研究の視点（指導案に位置づけたい）

- ① 学び合いを通して表現する力を伸ばす。
- ② 子どもの表現に必要な知識、技能を身に付けられるようにする支援のあり方

子ども達が音楽の楽しさ、美しさを感じ取り、よりよい表現に向けて自ら工夫し創り上げていこうとする意欲を育てるためには、学び合いを通して友だちの表現のよさを見つけることが大切である。その中で子ども達のよりよい表現をしようとする意欲が高まるからである。

また、子ども達が意欲をもって表現できるためには、基礎的、基本的な知識、技能がしっかり身に付いていなければならない。どの児童も、基礎的、基本的な知識、技能をしっかりと身につくよう、支援のあり方を工夫していく必要がある。以上の理由から本年度二つの視点を設定した。

4 具体的研究内容

- ・ 学び合える場の設定
- ・ 学習カードを通しての子どもの願いや思いの把握
- ・ 成功体験の分かち合いを通しての意欲の喚起
- ・ 基礎的、基本的な知識、技能を確実に定着させるためのスモールステップをふんだ指導
- ・ 基礎的、基本的な知識、技能を定着させるための時間の設定（例：モーツアルトタイム）

5 研究方法

- ・ 一斉授業研究会を通して、授業における指導、支援のあり方を研究する。指導案検討で模擬授業を取り入れ、「豊かに表現している姿」とは具体的にどのような姿なのか、「生き生きと表現している姿」とは具体的にどのような姿なのかを明確にしていく。
- ・ 部員の実践提案を通して、テーマに迫るための効果的な指導、支援のあり方を研究する。
- ・ 講師を招いた実技研修会を行い、指導の向上を図る。
- ・ 区児童音楽会を開催し、各学校の演奏を聴き合い交流を深めるとともに、合唱や合奏・鑑賞の指導力を高め、より豊かな音楽表現のあり方を研究する。
- ・ 情報交換を通して、子どもが意欲的に学習できる教材や指導法、ICT機器の活用法を知る。

6 研究組織

教育研究会長	横浜市立	下和泉	小学校	船木	淳	先生
世話人校長	横浜市立	中田	小学校	中村	真弓	先生
世話人校長	横浜市立	上飯田	小学校	村上	雅基	先生
世話人副校長	横浜市立	中和田	小学校	加藤	義治	先生

	氏 名	活 動 内 容
部長	宮野 愛 (伊勢山)	・市、区内の連絡調整 ・世話人校長先生との連絡 ・研究会の企画運営・支部長会、運営委員会、区協議会への出席 ・研究会、研修会、児童音楽会等の講師の招請 ・会計・年度末反省集約 等
副部長A	小林 洋美 (下和泉)	・部長補佐、代行 ・研究会の企画運営 ・一斉授業研究会の運営
副部長B	松尾 美穂 (西が岡)	・出席簿提示、整理、管理 ・研究会の企画運営 ・研究会関係書類や招請状の作成、発送、保管 ・記録担当者を統括 (各回の記録内容は、その日の記録者が内容を広報として各校へ送付)
行事部 ◎は専科がよい	加治屋 幸 (いずみ野)	・区児童音楽会の計画、立案、運営、会場の予約 ・会場交渉、楽器借用依頼等 ・音楽会運営の反省とまとめ

年間活動計画

月/日	内容	活 動 内 容	会場	司会	記録
4/12 (水)	研究	年間計画 組織作り	伊勢山	部長	副部長A (下和泉)
5/17 (水)	研修	研修Ⅰ 並木第一小学校長 松崎由里子先生ご指導	伊勢山	西が岡	上飯田
6/14 (水)	研究	実践提案① (中田) 小 () 先生	伊勢山	中和田南	葛野
7/12 (水)	行事	区児童音楽会実施提案	伊勢山	緑園	飯田北いちよう
8/17 (木)	研修	研修Ⅱ	(伊勢山)	下和泉	伊勢山
9/13 (水)	研究	一斉研指導案検討①	東中田	岡津	中和田南
10/11 (水)	研究 行事	・一斉研指導案検討②【模擬授業】 ・児童音楽会について	東中田	中和田	緑園
11/8 (水)	研究	区一斉授業研 東中田小	東中田	新橋	副部長B (西が岡)
11/9 (木)	行事	泉区児童音楽会1日目 (午後)	泉公会堂		
11/10 (金)	行事	泉区児童音楽会2日目 (午前・午後)	泉公会堂		
12/13 (水)	研究	研修Ⅲ	伊勢山	葛野	岡津
1/17 (水)	研究	実践提案② (和泉) 小 () 先生	伊勢山	飯田北 いちよう	中和田
2/21 (水)	研究	年度末反省	伊勢山	部長	いずみ野

令和5年度

瀬谷区音楽研究会 活動計画

1. 研究主題

音楽の美しさを味わい、楽しんで表現しようとする心を育てる活動を目指して
～一人ひとりのよさを生かしながら表現を高め合い、
共に音楽活動をする 喜びを共有できる子どもの育成～

2. 主題設定の理由

音楽の美しさや楽しさを味わうためには、子ども一人ひとりが音楽に興味・関心を持ち、自ら意欲的に取り組もうとする姿勢を育むことが大切である。

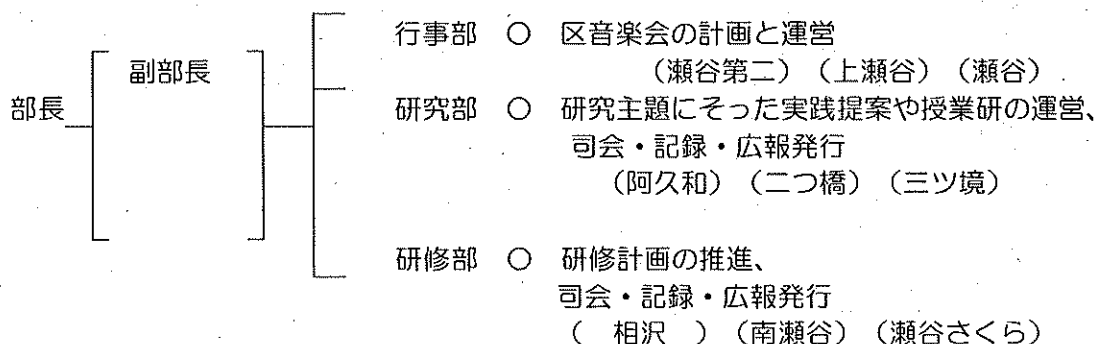
そのためには、子ども一人ひとりの思いや願いを温かく受けとめると共に、子どもが一人ひとりのよさを発揮し、共に音楽活動をする喜びを共有できるように適切な支援や指導をしたり、学習内容や学習方法の工夫をしたりしていくことが大切である。そこで、一人ひとりのよさを生かしながら楽しんで表現する心を育て、想像力を働かせながら音楽を聴く態度を育てることができるよう、個や場面にあった支援や指導の在り方を探り、深めたいと考え、この主題を設定した。

3. 研究方法

- ① 実践をもとにした研究
- ② 指導技術向上を図る実技研修
- ③ 児童の活動を通じた研究（区音楽会 等）

4. 研究組織と各部の内容

組織		氏名	学校	組織	氏名	学校
区教育研究会会長			上瀬谷小	部長	平石 真希子	大門 小
世話人	校長	蒲谷 猛	原 小	副部長	萩原 夏子	原 小
				行事部	高野 浩子	瀬谷第二小
	副校長		小			



- 部長 : 区研の司会進行、市・区の事務連絡、調整、講師の依頼、礼状作成、支部長会・区小教研に関わる書類の作成と出席。
- 副部長 : 部長の補佐をし、部長が出張や任務を行えない時に代行する。部員名簿作成、書記、会計を行う。(必要な場合のみ区研究案内)
- 行事部 : 区音楽会の計画立案
- 研究部 : 研究主題にそった実践提案や授業研の運営を行う。司会・記録・広報発行
- 研修部 : 講師連絡・内容の依頼、運営を行う。

5. 年間活動計画

☆研究部

★研修部

月	日	曜	会場	内容	提案	司会	記録・広報
4	12	水	瀬谷小 音楽室	年間計画と組織づくり	部長 副部長		
5	17	水	瀬谷小	★情報交換（音楽部の取組やコ ロナ後の授業について）	部長 副部長		
6	14	水		★ICT研修 ガレッジバンド音楽づくり	アイクリ ップス	三ツ境	阿久和
7	12	水	瀬谷小	☆実践提案①	大門	相沢	相沢
8	17	木	瀬谷小	★歌唱研修 先生 ・区音楽会について		相沢	瀬谷さくら
9	13	水	瀬谷小	★指揮法研修 講師 蒲谷 猛 先生		南瀬谷	瀬谷さくら
10	11	水	瀬谷小	・区音楽会連絡会議	行事部		
11	8	水	区音楽会直前のためお休み				
11	10	金	瀬谷公会堂	瀬谷区児童音楽会	行事部		
12	13	水		実践提案②	瀬谷さく ら	阿久和	二つ橋
1	17	水		区一斉研 （今年度音楽は無し）			
2	21	水	瀬谷小	・区音楽会反省 5年度の反省と次年度の 調整	副部長 部長		

広報の送り先 : 研究会長・研究副会長・世話人校長・世話人副校長・全部員

※ 提案校の順番 : 実践提案は年間2回

相沢→阿久和→上瀬谷→瀬谷→瀬谷さくら→瀬谷第二→大門→原→二つ橋→
三ツ境→南瀬谷 の順で2校ずつ

5年度（瀬谷さくら、瀬谷第二→大門） 6年度（大門→瀬谷第二、原）

7年度（二つ橋、三ツ境）8年度（南瀬谷、相沢） 10年度（阿久和 上瀬谷）の順番に回す。

※ 授業研の順番

R6年度 大門（秋） 8年度 原（秋） 10年度 二つ橋（秋）

12年度 三ツ境（秋） 14年度 南瀬谷（秋）

※マーチング交流会お手伝い なし

クラスルーム R5瀬谷区音楽研究会 qhts3tq

適宜ハイブリッド開催の予定